

## 世界の異常気象速報（臨時）

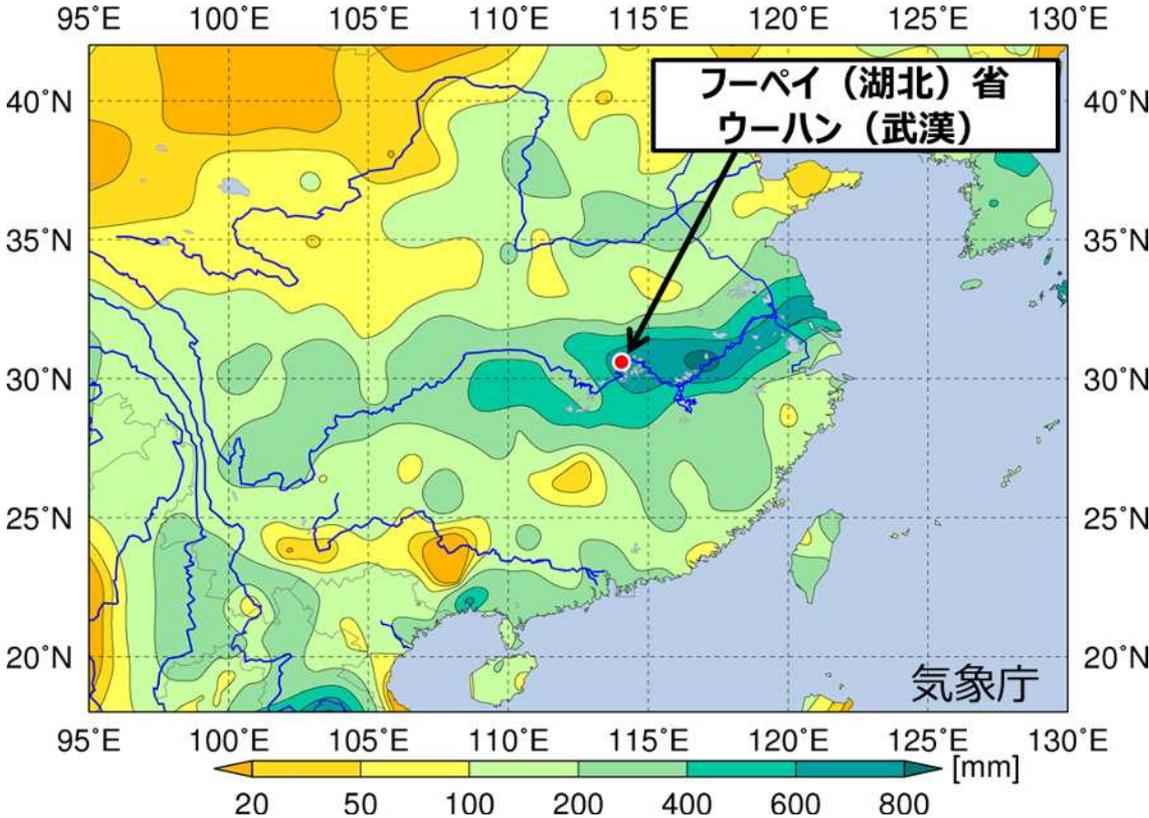
世界の異常気象や気象災害のうち、顕著な事例について、その状況等を速報としてまとめた情報です。

発表年月日と異常気象： [【最近発表された世界の異常気象速報（臨時）】](#)

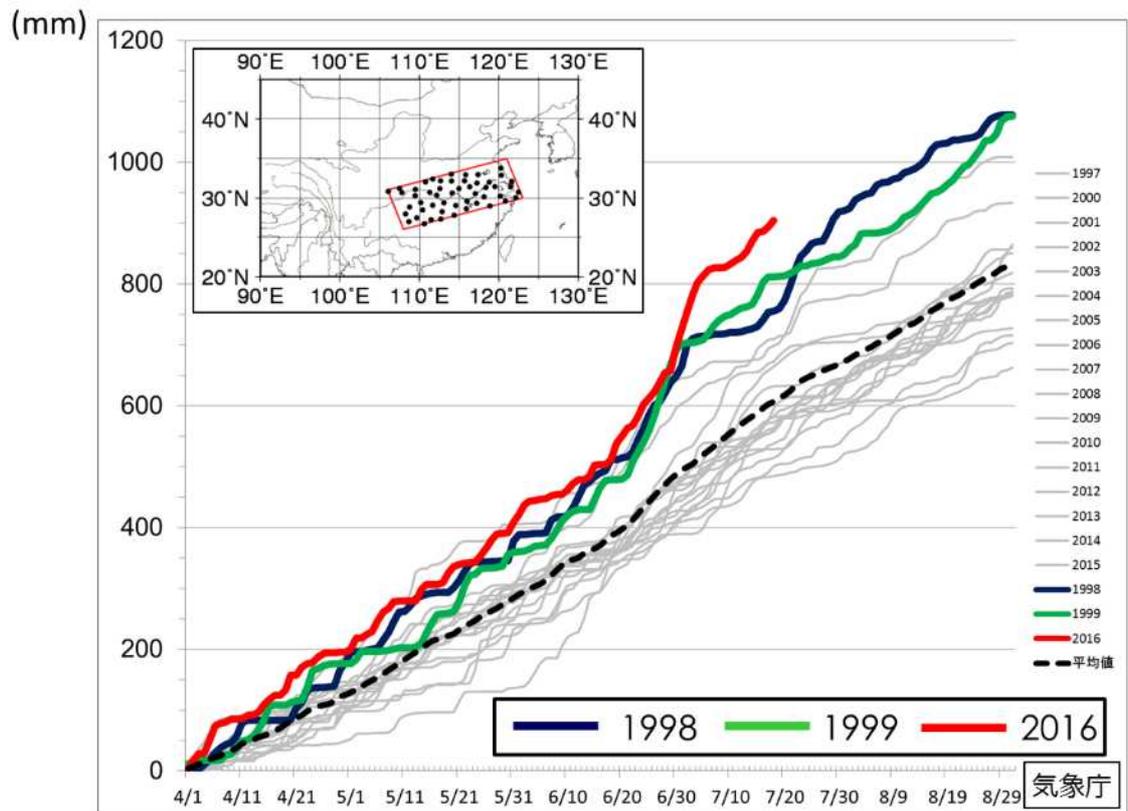
過去に発表した情報は、以下のページからご覧になれます。

[過去に発表した情報（発表順）](#)

[過去に発表した情報（地域別）](#)

中国の長江中・下流域での大雨について	
発表日	平成28年7月19日
概要	<p>中国の長江中・下流域では、4月から7月中旬までの積算降水量が最近の20年間でもっとも多くなっており、中国政府によると7月8日までに洪水や土砂災害による死者が160人以上となったと伝えられている。</p> <p>2016年7月28日に<a href="#">要因まで含めた資料</a>を公開しました。</p>
気象実況 (分布図)	 <p>降水量分布図（特に降水量が多かった6月21日～7月18日の積算）。単位mm。各国気象局の通報に基づき、気象庁で作成。</p> <p>長江中・下流域の多いところでは、この期間の降水量の積算が800mmを超えた。フーペイ（湖北省）ウーハン（武漢）では700mmを超え、7月の平年値（236.0mm）と比べて約3.0倍となった。</p>

気象実況  
(時系列図)



長江中・下流域の積算降水量（4月1日～8月31日）。単位mm。中国気象局の通報に基づき、気象庁で作成。降水量分布図赤枠内にある長江中・下流域の51観測地点で平均した積算降水量。各折れ線グラフ（実線）は1997年以降の各年4月1日からの積算降水量（2016年は7月18日まで）で、赤色が2016年、紺色が1998年、緑色が1999年、灰色がその他の年を示す。点線は1997年から2015年までの19年間の平均値。

4月以降、長江中・下流域の積算降水量は高い値で推移し、6月下旬以降は大規模な洪水が発生した1998年と比べて著しく大きな値となっている。

見通し

中国気象局が7月18日に発表した予報によると、21日にかけて長江流域で大雨が見込まれている。  
(参考) 中国気象局が発表した降水予報は以下のURLで見ることができる。

<http://www.nmc.cn/publish/bulletin/mid-range.html>